

ヒベンズ酸チペピジン 110.7 mg/g 散

溶出試験 本品約 0.2 g を精密に量り，試験液に水 900 mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 15 分後，溶出液 20 mL 以上をとり，孔径 0.5 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10 mL を除き，次のろ液 10 mL を正確に量り，水を加えて正確に 20 mL とし，試料溶液とする。別にヒベンズ酸チペピジン標準品を酸化リン（ ）を乾燥剤として 60 で 3 時間減圧乾燥し，その約 0.024 g を精密に量り，薄めたエタノール（3 4）15 mL を加え，時々加温しながら溶かす。冷後，薄めたエタノール（3 4）を加えて正確に 20 mL とする。この液 2 mL を正確に量り，水を加えて正確に 100 mL とする。更にこの液 10 mL を正確に量り，水を加えて正確に 20 mL とし，標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき，水を対照とし，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 286 nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品の 15 分間の溶出率が 80 % 以上のときは適合とする。

ヒベンズ酸チペピジン（ $C_{15}H_{17}NS_2 \cdot C_{14}H_{10}O_4$ ）の表示量に対する溶出率（%）

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 90$$

W_S ：ヒベンズ酸チペピジン標準品の量（mg）

W_T ：ヒベンズ酸チペピジン 110.7 mg/g 散の秤取量（g）

C ：1 g 中のヒベンズ酸チペピジン（ $C_{15}H_{17}NS_2 \cdot C_{14}H_{10}O_4$ ）の表示量（mg）

ヒベンズ酸チペピジン標準品 ヒベンズ酸チペピジン（日局）。ただし，乾燥したものを定量するとき，ヒベンズ酸チペピジン（ $C_{15}H_{17}NS_2 \cdot C_{14}H_{10}O_4$ ）99.0 % 以上を含むもの。

ヒベンズ酸チペピジン 22.1 mg/g ドライシロップ

溶出試験 本品約 1 g を精密に量り，試験液に水 900 mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験開始 15 分後，溶出液 20 mL 以上をとり，孔径 0.5 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10 mL を除き，次のろ液 10 mL を正確に量り，水を加えて正確に 20 mL とし，試料溶液とする．別にヒベンズ酸チペピジン標準品を酸化リン（ ）を乾燥剤として 60 で 3 時間減圧乾燥し，その約 0.024 g を精密に量り，薄めたエタノール（3 4）15 mL を加え，時々加温しながら溶かす．冷後，薄めたエタノール（3 4）を加えて正確に 20 mL とする．この液 2 mL を正確に量り，水を加えて正確に 100 mL とする．更にこの液 10 mL を正確に量り，水を加えて正確に 20 mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，水を対照とし，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 286 nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する．

本品の 15 分間の溶出率が 80 % 以上のときは適合とする．

ヒベンズ酸チペピジン（ $C_{15}H_{17}NS_2 \cdot C_{14}H_{10}O_4$ ）の表示量に対する溶出率（%）

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 90$$

W_S ：ヒベンズ酸チペピジン標準品の量（mg）

W_T ：ヒベンズ酸チペピジン 22.1 mg/g ドライシロップの秤取量（g）

C ：1 g 中のヒベンズ酸チペピジン（ $C_{15}H_{17}NS_2 \cdot C_{14}H_{10}O_4$ ）の表示量（mg）

ヒベンズ酸チペピジン標準品 ヒベンズ酸チペピジン（日局）．ただし，乾燥したものを定量するとき，ヒベンズ酸チペピジン（ $C_{15}H_{17}NS_2 \cdot C_{14}H_{10}O_4$ ）99.0 % 以上を含むもの．